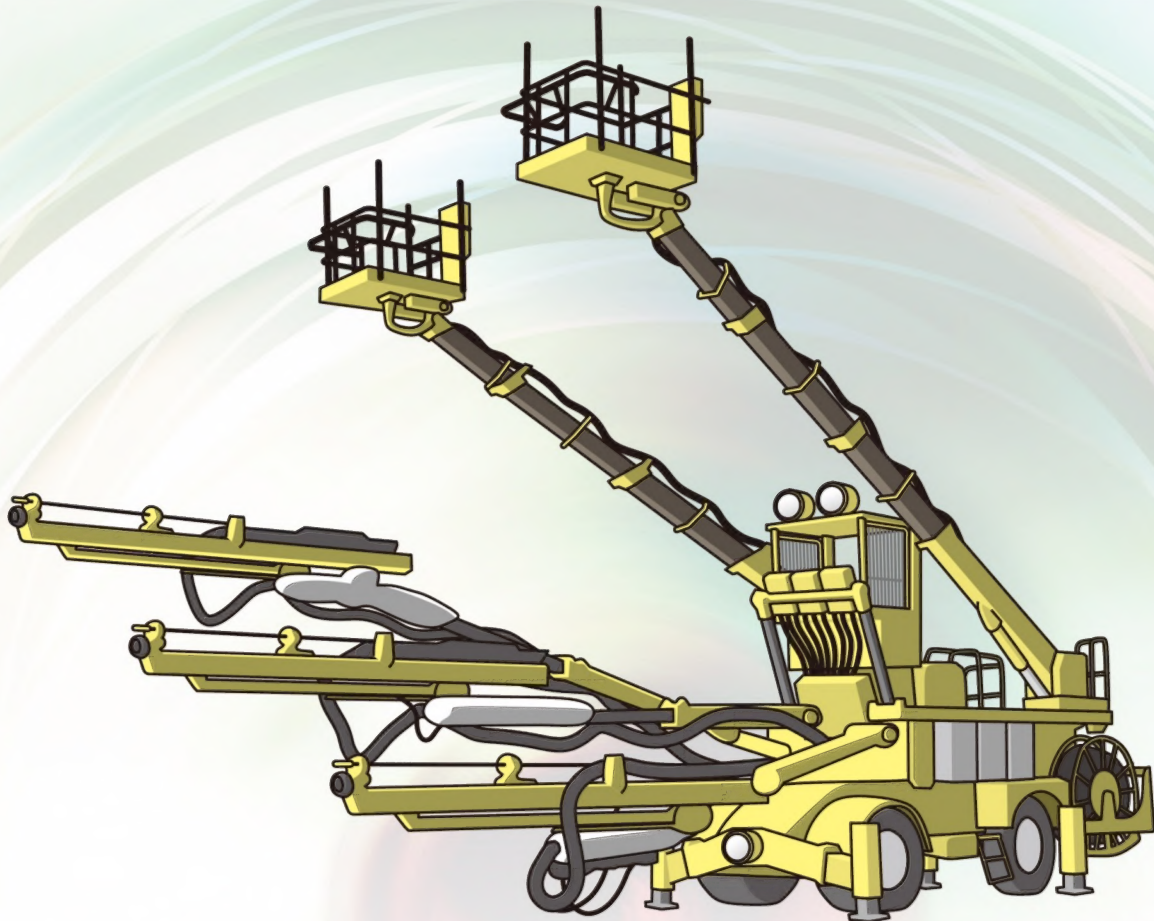


ドリルジャンボ安全使用のお願い

# お使いのドリルジャンボは 大丈夫ですか？



適正な使用期間

老朽化した機械は危険・故障のリスクが増大

整備・点検

メーカー推奨の定期点検・整備の実施

純正部品

交換部品はメーカー純正部品を使用

不正使用・不正改造禁止

機械の目的外の不正使用や不正改造は厳禁



# お使いのドリルジャンボを安全にご使用いただくために…

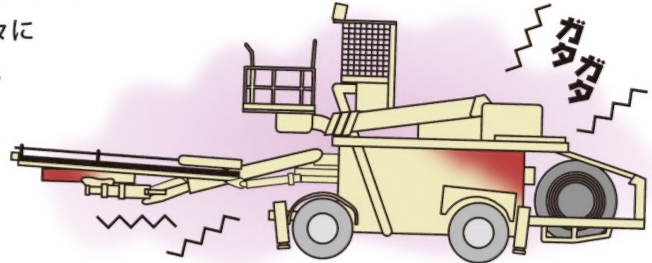
粗悪な補修部品により整備・修理されたり、老朽化が著しいドリルジャンボが現場で使用されるケースが増えております。お使いのドリルジャンボを安全にご使用いただくために、メーカー指定工場での適切な整備の実施を推奨します。

## ■老朽化した機械は危険・故障のリスクが増大

長期間で使用するドリルジャンボは、経年劣化により徐々に機能は低下し、危険と故障のリスクが増大していきます。

※製造物責任法（PL法）では、損害賠償の請求権について、製造業者等が製造物を引き渡した時から、10年を経過したときは、時効によって消滅します。

※「総合工事業用設備」として使用されるドリルジャンボの法定耐用年数は6年です。



## ■メーカー推奨の定期点検・整備の実施

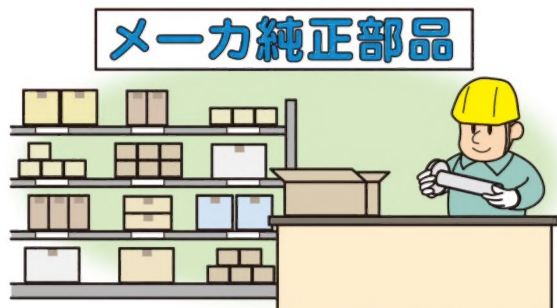
危険と故障のリスク低減のため、メーカー発行の整備要領に従って、定期点検・整備をおこなってください。経験豊富なメーカー指定の正規サービス工場での実施を推奨します。

※定期点検・整備はメーカー発行の整備要領に従って、適切に実施してください。



## ■交換部品はメーカー純正部品を

整備はメーカー整備基準に従って、消耗部品を点検交換してください。交換部品はメーカー純正部品をおすすめします。粗悪な補修部品を使用した場合、性能が低下するだけでなく、安全性が著しく損なわれる場合があります。



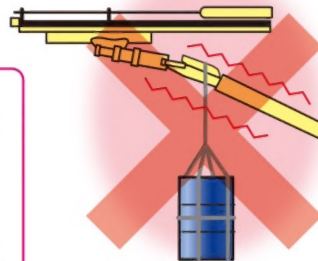
## ●不正使用、不正改造の禁止

メーカー発行の取扱説明書に従って、正しくお使いください。

目的外の不正使用や不正改造は厳禁です。

### 不正使用の例

●ブーム等を使用して重量物を吊り上げる



●バスケットへの過積載



補修用部品の供給年限ガイドライン

**製造終了後10年**

<http://www.cema.or.jp/general/manual/pdf/guide.pdf>

一般社団法人 日本建設機械工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館2階

TEL (03)5405-2288 FAX (03)5405-2280

URL <http://www.cema.or.jp>

お問い合わせ先

**FRD 古河ロックドリル株式会社**

〒103-0027 東京都中央区日本橋1丁目5番3号

特機部 TEL (03) 3231-6966 FAX (03) 3231-6993

URL <http://www.furukawarockdrill.co.jp>